

2024年度 法科大学院

第1期入学試験問題

3時限

刑法

(論文式)

試験時間 50分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[刑法]

次の事例におけるXとYの罪責について論じなさい。

(事例)

1 Xは、金が必要となり、高齢者を騙して金を取ることを考え、Yと相談した。

2 Yは「最近、自分は、近くに住んでいるV（当時69歳）に対して、Vの甥になりすまして電話をし、『仕事の関係で現金を至急必要としている。』と嘘をついたら、そのとおり誤解し、自分が出向いていったところ、現金100万円を手渡してくれた。Vなら、また騙せると思う。」と話すので、Xも、Vに対して新たな嘘を告げて金を交付させることを考えるに至った。

3 そこでXは、Vが自宅に保管している現金を欺し取る計画を立てて、次の行為に出た。即ち、2023年1月9日午前10時から同日午後2時までの間に、Xは、マスクを二重に被って声色を変えた上で、Vに何度か電話を掛け、「Vさん、私は所轄の警察署に勤務する警察官ですが、詐欺の被害に遭っていませんか。私は、昨日、『Vを騙して金を取った。』という男がいるという情報を入手しましたので、事実確認のために電話を掛けました。」「やはり、騙されてお金を手渡したのですね。もう二度と、騙されてお金を払ってはダメですよ。今、ご自宅に保管してある現金は、私が銀行口座に入金します。これも警察官の仕事の一つです。手持ちの現金は全部、私に預けて下さい。」「1時間後にお宅に到着します。それまでは、絶対に、手持ちの現金を他人に渡さないで下さい。」などと嘘を言った。Vは、Xが警察官であり、その指示に従う必要があると誤解し、Xに手渡すべき手持ち現金の確認を始めた。

4 同日午後3時頃、警察官らしき制服を着て警察官になりすましたXは、Yと共に、Vの住宅近くに来た。Yは、XがV宅にてVから現金を受け取り終わるまで、付近で見張りをし、現金を得た後に、現金の半額をYに渡すことで、Xと合意していた。

5 X、Yは、Vの居宅近く（そこから約200メートル付近）に到達したが、Vから所轄警察署への照会（Vのどの銀行口座を使う予定であるのかの確認等）のための電話を受けて、異変を察知し、現場近くに待機していた警察官P1とP2から職務質問を受けた後、両名とも逮捕された。